

スズキ、ミラノショーに海外向け二輪車の新型モデルを出品



SV650X(フォグランプ装着車)

スズキ株式会社は、11月7日から12日*までイタリア・ミラノで開催されている二輪車ショー「EICMA 2017(ミラノショー)」に、海外市場向けの2018年モデルとして**新型「SV650X」**を出品した。

※プレスデー:11月7~8日、一般公開日:11月9~12日

新型「SV650X」は、2017年10月に東京モーターショーで発表した参考出品車「SV650X」の市販予定モデルである。

スムーズな出力特性や高い操縦性を特長とする、645cm³ V型2気筒(Vツイン)エンジンを搭載したスリムで軽量なロードスポーツバイク「SV650」をベースに、ヘッドライトカウルやセパレートハンドルなどのカフェレーサースタイルのスポーツカスタムを取り入れ、個性的な外観に仕上げた。ヘッドライトカウルは左右にアクセントとしてスリットを入れ、燃料タンクには「SUZUKI」の文字を入れたデザインとした。また、セパレートハンドルを装備することでスポーティーなライディングポジションを実現し、シート座面を立体感のある仕上がりにしたタックロールシートに、前傾姿勢でも疲れにくいソフトなクッションを採用した。さらに、ヘッドライトの下にはオプションでフォグランプを装着可能とした。

2018年初頭より欧州を中心に販売を開始する計画である。

●新型「SV650X」の主要諸元

- ・全長2,140mm×全幅730mm×全高1,090mm
- ・ホイールベース 1,445mm
- ・装備重量 198kg
- ・エンジン型式 645cm³水冷4サイクル90度Vツインエンジン